

全国森林計画（変更案）に対する意見の概要

- 1 募集期間 平成23年6月1日(水)～平成23年6月30日(木)の30日間
 2 提出者数 8件（個人7件、団体・法人1件）
 3 提出項目数 重複を排除し、19項目
 4 処理状況

処理結果の区分	項目数	提出意見の例（概要）
1 要旨を取り入れているもの	10	<p>○民有林と国有林の垣根を越えた、地域における林地利用のランドデザインを示すことにより、施業集約化を図る林分が明らかとなり、流域段階における資源量や木材供給量の見通しが明らかになる。</p> <p>○近年、林業は若者の就労先として見直されてきているものの、これを確実にするためには、安定した収入の確保等を通じた人材の確保や育成が必要。</p> <p>○鳥獣被害の抜本解決のためには、野生動物の生息地再生や針広混交による育成複層林への移行が最優先課題である。</p>
2 要旨の一部を取り入れているもの	7	<p>○路網整備の水準で、傾斜区分毎に目標とする路網密度を提示することはすばらしいが、急峻地の路網密度を5m/haとすることに意味を感じない。横棒で示すことが適当ではないか。</p> <p>○奥山水源地域、尾根、山の上3分の1、急傾斜地、沢筋は保護樹帯としてゾーニングするべき。このような場所では、強度な間伐による針広混交の育成複層林の造成や広葉樹林などへ移行する施業を行うべき。</p> <p>○津波被害を軽減するために、堤防の内側・外側に深根性で潮害に強い樹種からなる防災林を設置するべき。</p>
3 修正するもの	0	
4 今後の検討課題等	2	<p>○衛星デジタル画像について、国産品を奨励していくべき。</p> <p>○森林GISは自治体毎に異なる仕様であることから、仕様の統合化を図るべき。</p>
合 計	19	